

事業番号	09 03 04	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農業改良普及事業	部局	農政部	課・室	農業技術課		
		実施期間	S23 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標	①労働生産性						
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進	3-7 先端技術の積極的な活用・導入					

1 現状と課題

・人口減少・少子高齢化により基幹的農業者が大幅に減少（73千人（2015年）→56千人（2020年））する中、農業・農村を支える担い手が不足している状況である。一方、中核的経営体への農地集積が進んでおり（8,998経営体（2015年）→9,948経営体（2020年））、普及組織に対し、経営管理能力の向上や効率的な栽培管理技術等が求められている。
 ・このため、普及組織は、複雑多様化する地域課題等の解決に向けて、関係機関と一層連携したより高度な普及活動が必要となっている。

2 事業目的

・農業経営者が、高度化する農業技術や環境と調和のとれた農業生産、多様化する流通・消費形態、高度情報化等に対応し、地域で活躍するとともに、農業・農村を担う組織づくりを促進し、地域農業の振興と活性化が図られている。
 ・食品産業界が求める農産物を生産し、契約取引を行う農業者を増やし、産地づくりの推進と農家の所得向上が図られている。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①新規就農の支援
 ・新規就農者を確保するため、農業農村支援センターに就農コーディネーターを配置するとともに、農業大学校研修部において就農体験研修、新規就農里親前基礎研修、新規就農里親研修を実施

②技術指導による水稲の1等米比率全国1位の達成のための活動
 ・品質向上を図るため、施肥改善、高温障害対策、適期収穫等の技術指導を実施
 ・品質低下を招く斑点米の発生を防止するため、カメムシ対策等の技術指導を実施

③県オリジナル果樹品種の作付促進
 ・県オリジナル品種であるリンゴ「シナリップ」、ブドウ「クイーンルージュ®」の作付拡大による果樹経営体の収益性向上を図るため、栽培技術等の講習会を開催

④スマート農業の推進
 ・水田作業における水管理の省力化を図るため、県で導入した水田センサー90台を無償貸与
 ・スマート農業技術の導入を推進するため、講習会等を開催

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	新規就農者数（45歳未満）	名	173	181	↗	171	↘	180	未達成	新規就農支援の実績の指標として設定。中核的経営体を安定的に確保・育成するため毎年180人を達成目標とした。	
②	米の1等米比率の全国順位	位	2	2	→	2	→	1	未達成	県産米の品質の指標として設定。全国1位奪還を達成目標とした。	
③	県オリジナル果樹品種の栽培面積	ha	223	279	↗	306	↗	295	達成	県オリジナル品種の拡大による果樹生産者の収益向上の推進実績の指標として設定し、R4年度は295haを達成目標とした。	
④	新規契約取引成約件数	件	48	48	→	32	↘	45	未達成	契約取引を行う新たな産地づくりを進めるための指標として設定し、毎年45件を達成目標とした。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	0	90,522	△ 27,632	62,890	34,345	56,185	179.0
R3年度	0	63,805	△ 2,977	60,828	29,521	48,080	179.0
R2年度	0	64,780	△ 3,944	60,836	29,008	44,484	188.0

事業番号	09 03 04	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農業改良普及事業		部局	農政部	課・室	農業技術課

6 主な取組実績と成果

<p>○新規就農の支援 農業農村支援センターで就農促進プロジェクト会議（市町村、JAとの情報交換会、研修会含む。）を開催したほか（49回、延べ725人参加）、農業大学校研修部で就農希望者向けに新規就農里親前基礎研修（通年、4人受講）、就農体験研修（6回、延べ44人受講）、新規就農里親研修（通年、34人受講）を実施し、延べ82人が参加した。これにより、新規就農者を171人確保できた。</p> <p>○1等米比率全国1位の達成のための技術指導 地域ごとのチーム体制による課題解決型の活動や、JA全農長野と連携して新聞広告（1回）やラジオCM（1回）による高温対策・斑点米カメムシ対策の注意喚起を実施したほか、長野米商品性向上指導者研修会を開催した（1回）。これにより、一等米比率が昨年度から0.8%向上した（R3：95.8%→R4：96.6%）。</p> <p>○県オリジナル果樹品種の作付促進 県オリジナル品種（リンゴ「シナリップ」、ブドウ「クイーンルージュ®」）の作付拡大を図るため、栽培研修会（シナリップ4回、クイーンルージュ®12回）を開催した。これにより、上記品目の作付面積が27ha拡大した。</p> <p>○スマート農業の推進 令和元年度に県が導入した水田センサーを希望する13経営体に計19台貸し出し、効果の検証及び導入促進を図ったほか、スマート農業技術に対する理解を図るため、講習会等を全県で計365回開催し、延べ4,055人が受講。前年度（411回、延べ4,339人受講）より開催回数は減少したものの、昨年度に引き続き4,000人を超える人に先端技術に触れていただいた。</p>

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	新規就農者数（45歳未満）	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
農業大学校研修部における各種研修会や就農相談会の開催等により新規就農者を171人確保できたが、他の産業との競合により目標を下回った。							
指標②	米の1等米比率の全国順位	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	未達成
現地での指導及びメディアを活用した高温対策・斑点米カメムシ対策の注意喚起により、昨年度実績より一等米比率（R3：95.8%→R4：96.6%）は向上したが、1位の岩手県（96.8%）には及ばず2位と目標を下回った。							
指標③	県オリジナル果樹品種の栽培面積	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
関係機関と連携した計画的な生産振興や栽培研修会の開催等により栽培面積は306haとなり、目標を上回った。							
指標④	新規契約取引成約件数	R3年度推移	→	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
新型コロナウイルス感染症の影響で、商談会参加機会・飲食店からの要望等が減少したため、新規契約件数が32件と目標を下回った。							

8 今後の事業の方向性

<p>(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就農コーディネーターによる就農相談や研修会等の開催により、毎年一定程度の新規就農者の確保にはつながっているが、農業・農村を支える担い手は依然として不足している状況であるため、今まで以上に関係機関と連携した普及活動が必要である。 ・県オリジナル果樹品種の栽培面積の拡大に向けて、栽培技術に加え、農業経営に対する助言等を実施していく必要がある。 ・新規契約取引成約件数の増加に向けて、新規契約を希望する農業者に対し、営業局の開催するWEB商談会への参加や商談サイトへの登録を呼びかけ、実需者とのマッチングを支援していくとともに、生産安定に向けた栽培技術指導を実施していく必要がある。
<p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の確保に向けて、農業法人見学会など、農業の魅力や面白さを実感できるような新たな取組を実施する。 ・県のオリジナル果樹品種の作付面積の拡大のため、農業者や産地が抱える問題を的確に把握・分析し、試験場等で得られた生産性向上等に関する成果を実証展示や研修会の開催により迅速に普及する。 ・関係機関と連携した新たな産地の育成に向け、提案を行うとともに、地域の重要品目の生産安定や契約取引を推進する。

事業名	農業改良普及事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	-----------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	農業改良普及運営費	37,902 千円	34,931 千円	42,616 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農業改良普及運営費	直接	地域における課題解決を支援するため、県下10所の農業農村支援センターに普及指導員を配置して、普及活動を展開 普及指導対象16,396経営体、調査研究81課題	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	農業改良普及事業費	6,053 千円	12,626 千円	12,995 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農業改良普及事業費	直接	担い手の育成・確保や農業関係試験場が開発した新技術・新品種の普及、スマート農業やカイゼン手法の導入による農業者の経営改善など、協同農業普及事業の実施に関する指針に基づいた普及活動を展開 農業者に対する研修会・講習会2,444回、新規就農者促進のための交流会49回	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	中山間地域農業新需要創出事業	529 千円	523 千円	574 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	中山間地域農業新需要創出事業	直接	契約取引を志向する農業者等が取引を開始する上で必要となる伝統野菜、新品目、新品種等の栽培技術指導や実需者とのマッチングを支援 新規契約取引成約件数32件	